

C08G 炭素 - 炭素不飽和結合のみが関与する反応以外の反応によって得られる高分子化合物（発酵または酵素を使用して所望の化学物質もしくは組成物を合成する方法またはラセミ混合物から光学異性体を分離する方法 C12P）[2]

注

- (1) 化合物の治療活性は、サブクラス A61P にさらに分類する。[7]
- (2) このサブクラスのそれぞれのメイングル - プにおいては、グル - プ C08G18/00 が他のグル - プに優先する。もし重合体が適切なグル - プに分類される特定の結合を形成する反応によって得られる場合は、さらに分類を付与する。[2]
- (3) このサブクラスではラストプレイス優先ル - ルが適用される、すなわち各階層レベルにおいて相反する指示がない限り、最後の適切な箇所に分類する。[2]
- (4) このサブクラスは、このサブクラスに分類しうる高分子化合物を形成する単量体に基づく組成物も包含する。[7]
- このサブクラスにおいては：[7]
- (a) 単量体が定義されているなら、形成される重合体に従ってグル - プ C08G2/00-C08G79/00、C08G83/00 に分類する。[7]
- (b) 単量体は定義されているが、組成物がこのサブクラスの 1 つのメイングル - プ内に分類できない場合は、その組成物はグル - プ C08G85/00 に分類する。[7]
- (c) 配合成分自体が重要である場合は、サブクラス C08K にも分類する。[7]

サブクラス内の索引

アルデヒドまたはケトンから得られる高分子化合物

2/00-16/00
ポリアセタ - ル 2/00,4/00
イソシアネ - トまたはイソチオシアネ - トから得られる高分子化合物
18/00
エポキシ樹脂 59/00
主鎖に連結基を形成する反応によって得られる高分子化合物 61/00-79/00

炭素 - 炭素連結基 61/00
酸素を含む連鎖 63/00-67/00
窒素を含む連鎖 69/00-73/00
いおうを含む連鎖 75/00
けい素を含む連鎖 77/00
炭素、酸素、窒素、いおう、またはけい素以外の原子を含む連結基 79/00

単量体の不存在下に重合体を相互に反応することにより得られる高分子化合物

81/00
その他の高分子化合物 83/00
一般的方法 85/00

2/00 アルデヒドまたはその環状オリゴマ - のまたはケトンの付加重合体：それらと 50 モル%未満の他の物質との付加重合体 [2]

2/02 ・波動エネルギー - または粒子線により開始される重合 [2]

2/04 ・分子量に影響する化合物を用いることによる重合、例、連鎖移動剤 [2]

2/06 ・触媒 [2]

2/08 ・ホルムアルデヒドの重合 [2]

2/10 ・ホルムアルデヒドの環状オリゴマ - の重合 [2]

2/12 ・アセトアルデヒドまたはその環状オリゴマ - の重合 [2]

2/14 ・グル - プ C08G2/08-C08G2/12 に分類されないアルデヒド単独の重合 [2]

2/16 ・ケトン単独の重合 [2]

2/18 ・アルデヒドまたはケトンの共重合 [2]

2/20 ・他のアルデヒドまたはケトンとの [2]

2/22 ・エポキシ化合物との [2]

2/24 ・アセタ - ルとの [2]

2/26 ・炭素 - 炭素不飽和を含む化合物との [2]

2/28 ・重合後の処理 [2]

2/30 ・後処理による化学的変性 [2]

2/32 ・エステル化によるもの [2]

2/34 ・エ - テル化によるもの [2]

2/36 ・解重合によるもの [2]

2/38 ・高分子化合物にアルデヒドまたはケトンを重合することによりつくられたブロックまたはグラフト重合体 [2]

4/00 アルデヒドまたはケトンのポリアルコ - ルとの重縮合体；環中に少くとも一回 O - C - O 基が現われるような複素環式酸素化合物の付加重合体（アルデヒドの環状オリゴマ - の付加重合体 C08G2/00）[2]

6/00 アルデヒドまたはケトンのみの重縮合体 [2]

6/02 ・アルデヒドのケトンとの [2]

8/00 アルデヒドまたはケトンのフェノ - ルのみとの重縮合体 [2]

A 重合方法

B ・段階方法

C ・配合剤の存在下における重合

D ・粉末化、粒状化

E ・重合触媒

F 重合後の処理

G 重合装置

H アルデヒド又はケトンの混合物からの

J アルデヒドと 8/14-8/18 に含まれない C₆H₅O 以外の異種原子含有フェノ - ルからの

Z その他

8/02 ・ケトンの [2]

8/04 ・アルデヒドの [2]

8/06 ・フルフラ - ルの [2]

8/08 ・ホルムアルデヒドの、例、その場で形成されたホルムアルデヒドの [2]

8/10 ・フェノ - ル（石炭酸）との [2]

8/12 ・ただ一個の炭化水素置換基を OH 基に対してオルソまたはパラ位置に有する一価フェノ - ルとの、例、p - 第三ブチルフェノ - ル [2]

8/14 ・ハロゲン化フェノ - ルとの [2]

8/16 ・アミノ またはニトロフェノ - ルとの [2]

8/18 ・カルボン酸またはスルホン酸基で置換されたフェノ - ルとの [2]

8/20 ・多価フェノ - ルとの [2]

A リグニン

B 高分子量フェノ - ル化合物

Z その他

8/22 ・レゾルシノ - ル [2]

8/24 ・グル - プ C08G8/10-C08G8/20 のうちの 1 つのみには属さない 2 種またはそれ以上のフェノ - ルの混合物との [2]

8/26 ・アルデヒドとケトンの混合物からの [2]

8/28 ・化学的に変性された重縮合体 [2]

A	N 原子含有化合物によるもの	14/06	・・・フェノ - ルおよび窒素に結合した水素を含む単量体との [2]
B	C,H,O 以外の原子含有化合物によるもの	14/067	・・・非環状または炭素環状単量体 [5]
Z	その他	14/073	・・・アミン [5]
8/30	・・・不飽和化合物によるもの, 例 . テルペン [2]	14/08	・・・尿素 ; チオ尿素 [2,5]
8/32	・・・有機酸またはその誘導体によるもの, 例 . 脂肪油 [2]	14/09	・・・複素環単量体 [5]
8/34	・・・天然樹脂または樹脂酸によるもの, 例 . ロジン [2]	14/10	・・・メラミン [2,5]
8/36	・・・エ - テル化によるもの [2]	14/12	・・・化学的に変性された重縮合物 [2]
8/38	・・・高分子化合物にアルデヒドまたはケトン を重縮合することによりつくられる ブロックまたはグラフト重合体 [2]	14/14	・・・高分子化合物にアルデヒドまたはケトン を重縮合することによりつくられる ブロックまたはグラフト重合体 [2]
10/00	アルデヒドまたはケトンの芳香族炭化水素 またはハロゲン化芳香族炭化水素の みとの重縮合体 [2]	16/00	アルデヒドまたはケトンの, グル - プ C08G4/00 から C08G14/00 に属さない 単量体との重縮合体 [2]
10/02	・・・アルデヒドの [2]	16/02	・・・アルデヒドの [2]
10/04	・・・化学的に変性された重縮合物 [2]	16/04	・・・化学的に変性された重縮合物 [2]
10/06	・・・高分子化合物にアルデヒドまたはケトン を重縮合することによりつくられる ブロックまたはグラフト重合体 [2]	16/06	・・・高分子化合物にアルデヒドまたはケトン を重縮合することによりつくられる ブロックまたはグラフト重合体 [2]
12/00	アルデヒドまたはケトンの, 窒素に結合 した水素を有する化合物のみとの重縮合 体 (アミノフェノ - ル C08G8/16) [2]	18/00	イソシアネ - トまたはイソチオシアネ - トの重合生成物 [2]
12/02	・・・アルデヒドの [2]	A	粒状物の製造
12/04	・・・非環式または炭素環式化合物との [2]	B	溶液, エマルジョンの製造
12/06	・・・アミン [2]	C	・・・水溶液, 水性分散液
12/08	・・・芳香族 [2]	D	重合装置
12/10	・・・X = C (N<) ₂ (X は O,S または N) なる構造を有する非環式化合物 との [2]	F	発泡体の製造
12/12	・・・尿素 ; チオ尿素 [2]	G	・・・気泡安定剤, 整泡剤
12/14	・・・ジシアンジアミド ; ジシアンジアミ ジン ; グアニジン ; ビグアニド ; ピュ - レット ; セミカルバジド [2]	H	・・・発泡剤
12/16	・・・ジシアンジアミド [2]	J	・・・配合剤
12/18	・・・シアナミドとの [2]	K	・・・無機化合物
12/20	・・・ウレタンまたはチオウレタンとの [2]	L	・・・有機化合物
12/22	・・・カルボン酸アミドとの [2]	M	・・・スキン付発泡体の製造
12/24	・・・スルホン酸アミドとの [2]	Z	その他
12/26	・・・複素環式化合物との [2]	18/00 030	・・・活性水素を持たないエポキシ化合物と の (活性水素を持つエポキシ樹脂との もの C08G18/58)
12/28	・・・置換ジアジン , ジアゾ - ルまたはト リアゾ - ルとの [2]	18/00 060	・・・アルデヒドとの このグル - プにおいては, グル - プ 101/00 のインデキシ ングコ - ドを付与することが望ましい。 [5]
12/30	・・・置換トリアジンとの [2]	18/02	・・・イソシアネ - トまたはイソチオシアネ - トのみの [2]
12/32	・・・メラミン [2]	18/02 020	・・・イソシアヌレ - ト基を含有する重合生 成物
12/34	・・・複素環式化合物と非環式または炭素 環式化合物との [2]	18/02 050	・・・カルボジイミド基を含有する重合生成 物
12/36	・・・尿素 ; チオ尿素 [2]	18/02 070	・・・ウレトジオン基を含有する重合生成物
12/38	・・・およびメラミン [2]	18/04	・・・ビニル化合物との [2]
12/40	・・・化学的に変性された重縮合物 [2]	18/06	・・・活性水素を有する化合物との [2]
12/42	・・・エ - テル化によるもの [2]	18/08	・・・方法 [2]
12/44	・・・エステル化によるもの [2]	18/08 004	・・・イオン性基またはイオン類似基を 含有する重合体の製造
12/46	・・・高分子化合物にアルデヒドまたはケトン を重縮合することによりつくられる ブロックまたはグラフト重合体 [2]	18/08 009	・・・カチオン性基またはカチオン類似基 を含有するもの
14/00	アルデヒドまたはケトンの, グル - プ C08G8/00-C08G12/00 の少くとも 2 つ に属する 2 種またはそれ以上の他の単量 体との重縮合体 [2]	18/08 019	・・・アニオン性基またはアニオン類似基 を含有するもの
14/02	・・・アルデヒドの [2]	18/08 033	・・・カチオン性基またはカチオン類似基 とアニオン性基またはアニオン類似 基をともに含有するもの
14/04	・・・フェノ - ルとの [2]	18/08 038	・・・非反応性化合物の存在下での重合体 の製造 (組成物の製造 C08L75/00)
		18/08 042	・・・液体希釈剤の存在下で (C08G18/08 004 が優先)
		18/08 080	・・・反応混合物または反応成分からの水 または二酸化炭素の除去

18/08 085	・・・添加剤を使用するもの、例、吸着剤	18/32 028	・・・非環式の
18/08 090	・・・反応遅延化剤	18/32 034	・・・環式脂肪族の
18/08 095	・・・連続法による重合体の製造 (C08G18/08 038 が優先)	18/32 037	・・・芳香族の (C08G18/32 034 が優先)
18/09	・・・イソシアネート基あるいはイソチオシアネート基の一部が反応混合物の中で起こす相互反応を伴う、イソシアネートまたはイソチオシアネートのオリゴメリゼーションを含むもの [7]	18/32 046	・・・複素環、異種原子がアミノ基の形で酸素または窒素であるもの
18/09 020	・・・イソシアヌレート基へのオリゴマー化	18/32 050	・・・二級または三級アミノ基を含有するもの (C08G18/32 028, C08G18/32 034, C08G18/32 046 が優先)
18/09 050	・・・カルボジイミド基またはウレトイミン基へのオリゴマー化	18/32 053	・・・潜在的な形のもの
18/09 070	・・・ウレトジオン基へのオリゴマー化	18/32 071	・・・ヒドロキシアミン
18/10	・・・イソシアネートまたはイソチオシアネートと活性水素を有する化合物との最初の反応段階における反応を伴うプレポリマー法 [2]	18/32 087	・・・環式脂肪族基を含有するもの
18/12	・・・第一重合段階において活性水素を有する 2 またはそれ以上の化合物を用いるもの [2]	18/32 090	・・・芳香族基を含有するもの
18/16	・・・触媒 [2]	18/32 093	・・・複素環式基を含有するもの
18/18	・・・第二または第三アミンまたはそれらの塩を含むもの [2]	18/32 096	・・・潜在的な形のもの
18/20	・・・複素環式アミン; その塩 [2]	18/34	・・・カルボン酸; そのモノヒドロキシ化合物とのエステル [2]
18/22	・・・金属化合物を含むもの [2]	18/34 010	・・・ジカルボン酸、2 個のカルボキシル基を含有するポリカルボン酸エステル
18/24	・・・すず化合物 [2]	18/34 030	・・・少なくとも 3 個のカルボキシル基を持つポリカルボン酸
18/26	・・・鉛化合物 [2]	18/34 080	・・・ヒドロキシカルボン酸
18/28	・・・活性水素含有使用化合物に特徴のあるもの [2]	18/36	・・・高級脂肪酸のヒドロキシル化エステル [2]
18/28 005	・・・活性水素を含有するただひとつの基を持つ化合物 (活性水素を含有する末端基を持つビニル重合体 C08G18/62)	18/38	・・・酸素以外の異種原子を有するもの (C08G18/32 が優先) [2]
18/28 010	・・・モノカルボン酸化合物	18/38 002	・・・ハロゲンを持つもの
18/28 015	・・・モノヒドロキシ化合物	18/38 004	・・・ポリヒドロキシ化合物
18/28 050	・・・窒素含有化合物	18/38 014	・・・ポリアミン
18/28 065	・・・ただ 1 個の一級または二級アミノ基を持つ化合物; アンモニア	18/38 017	・・・高級脂肪酸のヒドロキシル化エステル
18/28 075	・・・三級アミノ基を含有するモノヒドロキシ化合物	18/38 019	・・・窒素を持つもの
18/28 080	・・・酸素または窒素以外の少なくとも 1 個の異種原子を含有する化合物	18/38 042	・・・環に少なくとも 1 個の窒素原子を持つ複素環を含有するもの
18/28 085	・・・ハロゲン原子を含有するもの	18/38 055	・・・いおうを持つもの
18/28 090	・・・けい素を含有するもの	18/38 057	・・・いおうの他に窒素を持つもの
18/28 095	・・・活性メチレン基を含有する化合物	18/38 063	・・・2 個の炭素原子の間にいおう原子を持つ基を含有するもの、いおう原子が直接炭素原子または他のいおう原子に結合するもの
このグループにおいて、発泡体材料製造のための水の添加は考慮しない。[2]		18/38 074	・・・環に少なくとも 1 個のいおう原子を持つ複素環を含有するもの
18/30	・・・低分子量化合物 [2]	18/38 076	・・・メルカプト基を含有するもの
18/30 020	・・・水	18/38 078	・・・りんを持つもの
18/30 050	・・・末端アミノ基の形成	18/38 089	・・・りんの他に窒素を持つもの
18/30 070	・・・大気中の湿分	18/38 091	・・・りんの他にいおうを持つもの
18/32	・・・ポリヒドロキシ化合物; ポリアミン; ヒドロキシアミン [2]	18/38 093	・・・けい素を含有するもの
18/32 003	・・・ポリヒドロキシ化合物	18/38 097	・・・酸素、ハロゲン、窒素、いおう、りんまたはけい素以外の異種原子を含有するもの
18/32 006	・・・脂肪族の	18/40	・・・高分子量化合物 [2]
18/32 012	・・・環式脂肪族基を含有するもの	18/40 009	・・・C08G18/42 から C08G18/64 の単一のグループには含まれない 2 種以上の高分子化合物
18/32 015	・・・芳香族基またはベンゾキノンを含有するもの	18/40 018	・・・グループ C08G18/42 の化合物と C08G18/48 の化合物との混合物
18/32 018	・・・環に少なくとも 1 個の酸素原子を持つ環式基を含有するもの	18/40 027	・・・グループ C08G18/54 の化合物と他の高分子化合物との混合物
18/32 021	・・・高級脂肪酸以外のカルボン酸のヒドロキシル化エステル	18/40 036	・・・グループ C08G18/56 の化合物と他の高分子化合物との混合物
18/32 025	・・・ポリアミン	18/40 045	・・・グループ C08G18/58 の化合物と他の高分子化合物との混合物
		18/40 054	・・・グループ C08G18/60 の化合物と他の高分子化合物との混合物

18/40 063 グル - プ C08G18/62 の化合物と他の高分子化合物との混合物	18/48 054 アルキレン基に 4 個の炭素原子を持つオキシアリキレン基含有ポリエ - テル
18/40 072 グル - プ C08G18/63 の化合物と他の高分子化合物との混合物	18/48 058 アルキレン基に 5 個以上の炭素原子を持つオキシアリキレン基含有ポリエ - テル
18/40 081 グル - プ C08G18/64 の化合物と他の高分子化合物との混合物	18/48 062 少なくとも側鎖にエ - テル基の一部を含有するもの
18/42 主鎖にカルボン酸エステルまたは炭酸エステル基を有する重縮合物 [2]	18/48 066 低不飽和価を持つもの
18/42 002 異なった物理的性質または化学的性質の 2 以上のポリエステル (C08G18/44 が優先)	18/48 070 環式基を含有するポリエ - テル
18/42 005 環式基を含有するもの	18/48 075 環式脂肪族基を含有するもの
18/42 008 芳香族基を含有するもの	18/48 079 芳香族基を含有するもの
18/42 030 環式脂肪族基を含有するもの	18/48 083 環に少なくとも 1 個の酸素原子を持つ環式基を含有するもの
18/42 044 エ - テル基の形で酸素を含有するもの	18/48 087 高級脂肪油の酸または樹脂酸以外のカルボン酸から誘導されたカルボン酸エステル基を含有するもの
18/42 063 カルボン酸基を含有するもの	18/48 091 高級脂肪油またはその酸または樹脂酸で変性されたもの
18/42 066 ヒドロキシカルボン酸および / またはラクトンから製造されたもの	18/50 酸素以外の異種原子を有するもの [2]
18/42 069 ラクトン	18/50 003 ハロゲンを持つもの
18/42 080 ラクチド	18/50 021 窒素を持つもの
18/42 083 ヒドロキシカルボン酸またはエステル	18/50 033 炭素環基を含有するもの
18/42 088 高級脂肪油またはその酸によりまたは樹脂酸により変性されたもの	18/50 051 シアノ基を含有するもの
18/42 091 モノエポキシ化合物を含有するポリエステル形成成分から製造されたもの (C08G18/42 066 が優先)	18/50 054 環に少なくとも 1 個の窒素原子を持つ複素環を含有するもの
18/42 094 ポリエポキシ化合物を含有するポリエステル形成成分から製造されたもの (C08G18/42 066 が優先)	18/50 066 窒素のほかにハロゲンを持つもの
18/42 097 脂肪族アルデヒド縮合物またはその水素添加物で少なくとも 2 個のヒドロキシル基を含有するポリエステル形成成分から製造されたもの	18/50 072 いおうを含有するもの
18/44 ポリカ - ボネ - ト [2]	18/50 075 りんを含有するもの
18/46 酸素以外の異種原子を有するもの [2]	18/50 090 りんの他に窒素を持つもの
18/46 007 ハロゲンを持つもの	18/50 093 りんの他にいおうを持つもの
18/46 015 窒素を含有するもの	18/50 096 けい素を含有するもの
18/46 030 ニトロ基を含有するもの	18/52 ポリチオエ - テル [2]
18/46 038 環に少なくとも 1 個の窒素原子を持つ複素環を含有するもの	18/54 アルデヒドの重縮合物 [2]
18/46 069 不飽和ポリエステルとアミノ化合物の付加生成物	18/56 ポリアセタ - ル [2]
18/46 076 いおうを含有するもの	18/58 エポキシ樹脂 [2]
18/46 084 りんを含有するもの	18/58 010 エポキシ樹脂とイソシアネ - ト成分との反応前または反応中に添加される当量以下の活性水素含有化合物との反応生成物 (アミンとのもの C08G18/58 040)
18/46 092 けい素を含有するもの	18/58 020 ハロゲンを持つもの
18/48 ポリエ - テル [2]	18/58 040 窒素を持つもの
18/48 004 異なった物理的性質または化学的性質の 2 以上のポリエ - テル	18/58 050 いおうを持つもの
18/48 033 オキシエチレン単位を含有するポリエ - テル	18/58 070 りんを持つもの
18/48 037 さらに他のオキシアリキレン単位を持つもの	18/58 080 けい素を持つもの
18/48 041 オキシエチレン末端基を含有するもの	18/60 ポリアミドまたはポリエステルアミド [2]
18/48 045 オキシプロピレン末端基または高級オキシアリキレン末端基を含有するもの	18/61 ポリシロキサン [2]
18/48 050 混合したオキシエチレン - オキシプロピレン末端基またはオキシエチレン - 高級オキシアリキレン末端基を含有するもの	18/61 050 カルボン酸基を含有するもの
		18/62 炭素 - 炭素二重結合を有する化合物の重合体 [2]
		18/62 004 オレフィンの重合体 (共役ジエンの不飽和重合体 C08G18/69)
		18/62 012 アルケニルアルコ - ルの重合体 ; そのアセタ - ル ; そのオキシアリキル化生成物
		18/62 016 エチレン性不飽和カルボン酸またはその誘導体の重合体
		18/62 070 不飽和高级脂肪酸のヒドロキシル化エステルの重合体

18/62 075炭素 炭素二重結合を持つハロゲン含有化合物の重合体;炭素 炭素二重結合を持つ化合物の重合体のハロゲン化物 (C08G18/62 012 が優先)	18/65 076 グル - プ C08G18/69 の化合物
18/62 083炭素 炭素二重結合を持つ窒素含有化合物の重合体	18/65 082 グル - プ C08G18/32 の化合物または C08G18/38 のポリアミンとともに
18/62 087炭素 炭素二重結合を持ついおう含有化合物の重合体	18/66 グル - プ C08G18/42,C08G18/48 または C08G18/52 の化合物 [2]
18/62 091炭素 炭素二重結合を持つりん含有化合物の重合体	18/66 003 グル - プ C08G18/32 の化合物または C08G18/38 のポリアミンとともに
18/62 095炭素 炭素二重結合を持つけい素含有化合物の重合体	18/66 007 グル - プ C08G18/32 003 の化合物とともに
18/63 重合体に炭素 炭素二重結合を有する化合物を重合することによって得られるブロックまたはグラフト重合体 [2]	18/66 014 グル - プ C08G18/32 025 または C08G18/32 071 の化合物または C08G18/38 のポリアミンとともに
18/63 010 ポリエステルおよび / またはポリカ - ボネ - トに	18/66 025 グル - プ C08G18/34 の化合物とともに
18/63 020 ポリエ - テルに	18/66 029 グル - プ C08G18/36 の化合物または C08G18/38 の高級脂肪酸のヒドロキシ化エステルとともに
18/63 030炭素 炭素二重結合を持つ化合物の重合体に	18/66 033 グル - プ C08G18/42 の化合物
18/63 050 不飽和重合体に	18/66 037 グル - プ C08G18/32 の化合物または C08G18/38 のポリアミンとともに
18/64 グル - プ C08G18/42-C08G18/63 に分類されない高分子化合物 [2]	18/66 040 グル - プ C08G18/32 003 の化合物とともに
18/64 007 エポキシ樹脂と少なくとも同量の活性水素含有化合物との反応生成物 (アミンとのもの C08G18/64 030;C08G18/42,C08G18/48 が優先)	18/66 048 グル - プ C08G18/32 025 または C08G18/32 071 の化合物または C08G18/38 のポリアミンとともに
18/64 015 窒素を持つもの	18/66 059 グル - プ C08G18/34 の化合物とともに
18/64 023 ポリアルキレンポリアミン; ポリエチレンイミン; それらの誘導体 (ポリアミドまたはポリエステルアミド C08G18/60)	18/66 062 グル - プ C08G18/36 の化合物または C08G18/38 の高級脂肪酸のヒドロキシ化エステルとともに
18/64 030 エポキシ樹脂と少なくとも同量のアミンとの反応生成物	18/66 066 グル - プ C08G18/48 または C08G18/52 の化合物
18/64 038 ポリイミドまたはポリエステルイミド	18/66 067 グル - プ C08G18/32 の化合物または C08G18/38 のポリアミンとともに
18/64 046 蛋白質またはその誘導体	18/66 074 グル - プ C08G18/32 003 の化合物とともに
18/64 053 いおうを持つもの	18/66 081 グル - プ C08G18/32 または C08G18/32 071 の化合物および / または C08G18/38 のポリアミンとともに
18/64 061 りんを持つもの	18/66 092 グル - プ C08G18/34 の化合物とともに
18/64 069 けい素を持つもの	18/66 096 グル - プ C08G18/36 の化合物または C08G18/38 の高級脂肪酸のヒドロキシ化エステルとともに
18/64 076 瀝青質材料, 例. アスファルト, コ - ルタ - ル, ビッチ; その誘導体	18/67 活性水素を有する不飽和化合物 [2]
18/64 084 多糖類およびその誘導体	18/67 005 グル - プ C08G18/67 010,C08G18/67 095,C08G18/68 または C08G18/69 に含まれない不飽和重合体
18/64 092 リグニン含有材料; 木質樹脂; 木質タ - ル; その誘導体	18/67 010 活性水素を含有する基を 1 個だけ持った不飽和化合物 (C08G18/67 050 から C08G18/69 に優先)
18/65 活性水素を有する高分子量化合物を含む活性水素を有する低分子量化合物 [2]	18/67 050 低分子量化合物
18/65 005 低分子化合物が, グル - プ C08G18/32 の化合物または C08G18/38 のポリアミンであるもの	18/67 055 不飽和カルボン酸
18/65 011 グル - プ C08G18/32 003 の化合物	18/67 060 非芳香族炭素環の少なくとも部分的に不飽和を含有するもの
18/65 023 グル - プ C08G18/32 025 または C08G18/32 071 の化合物または C08G18/38 のポリアミン	18/67 065 環に少なくとも 1 個の酸素原子を持つ環の少なくとも部分的に不飽和を含有するもの
18/65 041 低分子化合物がグル - プ C08G18/34 の化合物であるもの	18/67 070 酸素および一級または二級アミノ基の窒素原子以外の異種原子を含有するもの
18/65 047 低分子化合物がグル - プ C08G18/36 の化合物または C08G18/38 の高級脂肪酸のヒドロキシ化エステルであるもの		
18/65 052 グル - プ C08G18/63 の化合物		
18/65 058 グル - プ C08G18/32 の化合物または C08G18/38 のポリアミンとともに		

18/67 075ハロゲンを含有するもの	18/76芳香族 [2]
18/67 080窒素を含有するもの	18/76 007C08G18/76 014 および C08G18/76 057 の化合物
18/67 085りんを含有するもの	18/76 014ただ 1 個の芳香族環を含有するもの
18/67 090アセチレン化合物	18/76 0572 以上の芳香環を含有するもの
18/67 095不飽和ポリエ - テル	18/76 078縮合芳香環を含有するもの
18/68不飽和ポリエステル [2]	18/76 085相互に直接結合した 2 個以上の非縮合芳香環を含有するもの
18/68 030環式基を含有するもの	18/76 092脂肪族基によって芳香族環に結合した少なくとも 1 個のイソシアネ - ト基またはイソチオシアネ - ト基を含有するもの
18/68 060環式脂肪族基を含有するもの	18/77イソシアネ - トまたはイソチオシアネ - トの窒素および酸素または硫黄以外にさらに異種原子を有するもの [2]
18/69共役ジエンの重合体 [2]	18/77 010酸素
18/69 020カルボン酸基を含有するもの	18/77 030ハロゲン
18/69 040カルボン酸エステル基を含有するもの	18/77 050いおう
18/69 060酸素および共重合されたビニルモノマ - の異種原子以外の異種原子を含有するもの	18/77 060りん
18/70	..用いられたイソシアネ - トまたはイソチオシアネ - トに特徴のあるもの [2]	18/77 080けい素
18/70 010	...その場でイソシアネ - トまたはイソチオシアネ - トを形成する化合物 (C08G18/80 が優先)	18/78窒素 [2]
18/70 030	...物理的な手段により潜在的な形態に変化させられたイソシアネ - トまたはイソチオシアネ - ト	18/78 006 - N - C = O 基を含有するもの
18/70 080	...非反応性高分子量化合物を含有するイソシアネ - トまたはイソチオシアネ - ト	18/78 012アミド基を含有するもの
18/71	...モノイソシアネ - トまたはモノイソチオシアネ - ト [2]	18/78 018ユレム基またはユレム誘導基を含有するもの
18/71 010イソシアネ - ト酸素のほかに酸素を含有するもの	18/78 025ユレム基を含有するもの
18/71 020ハロゲンを含有するもの	18/78 031ビウレット基を含有するもの
18/71 040イソシアネ - トまたはイソチオシアネ - トの窒素のほかに窒素を含有するもの	18/78 037アロファネ - ト基を含有するもの
18/71 050イソチオシアネ - トのいおうのほかにいおうを含有するもの	18/78 050三級アミノ基を含有するもの
18/71 070りんを含有するもの	18/78 056アゾ基を含有するもの
18/71 080けい素を含有するもの	18/78 062シアノ基またはアルジミンまたはケチミン基を含有するもの
18/72	...ポリイソシアネ - トまたはポリイソチオシアネ - ト [2]	18/78 068ニトロ基を含有するもの
18/72 010	...C08G18/73 から C08G18/80 の単一のグル - プには含まれない 2 以上のポリイソシアネ - ト	18/78 075環に少なくとも 1 個の窒素原子を持つ複素環を含有するもの
18/72 0202 以上の脂肪族および / または脂環式ポリイソシアネ - トの組み合わせ	18/79イソシアネ - トまたはイソチオシアネ - トのオリゴメリゼ - ションにより形成された基をもつポリイソシアネ - トの使用に特徴のあるもの [2]
18/72 040芳香族ポリイソシアネ - トと (環式) 脂肪族ポリイソシアネ - トの組み合わせ	18/79 010イソシアヌレ - ト基を含有するもの
18/72 050C08G18/78 のポリイソシアネ - トと他のポリイソシアネ - トの組み合わせ	18/79 020脂肪族および / または脂環式イソシアネ - トまたはイソチオシアネ - トのオリゴメリゼ - ションにより形成されたもの
18/72 070蒸留残渣または非蒸留ホスゲン化原生生成物からなるもの	18/79 040芳香族イソシアネ - トまたはイソチオシアネ - トのオリゴメリゼ - ションにより形成されたもの
18/73非環式 [2]	18/79 050脂肪族および / または脂環式イソシアネ - トまたはイソチオシアネ - トと芳香族イソシアネ - トまたはイソチオシアネ - トの混合物のオリゴメリゼ - ションにより形成されたもの
18/73 050一級炭素原子に結合した 1 個のイソシアネ - ト基またはイソチオシアネ - ト基および三級炭素原子に結合した少なくとも 1 個のイソシアネ - ト基またはイソチオシアネ - ト基を含有するもの	18/79 070カルボジイミド基および / またはウレトイミン基を含有するもの
18/74環式 [2]	18/79 080ウレトジオン基を含有するもの
18/75環式脂肪族 [2]	18/80封鎖されたポリイソシアネ - ト [2]
18/75 010ただ 1 個の脂肪族環を含有するもの		
18/75 0802 以上の脂肪族環を含有するもの		

18/80 061 活性水素を含有する 1 つだけの基を持つ化合物で封鎖されたもの	59/12	.. ポリカルボン酸のエピハロヒドリンまたはその前駆物質との [2]
18/80 064 モノヒドロキシル化合物で	59/14	・化学的後処理により変性された重縮合物 [2]
18/80 067 フェノール化合物	59/16	.. モノカルボン酸によるもの、またはその酸無水物、ハライドまたは低分子量エステルによるもの [2]
18/80 070 窒素含有化合物で	59/17	... アクリル酸またはメタクリル酸によるもの [4]
18/80 074 ラクトム	59/18	・エポキシ基と反応する硬化剤または触媒を用いて 1 分子中に 1 個より多くのエポキシ基を含む化合物を重合することにより得られる高分子化合物 [2]
18/80 077 オキシム	59/20	.. 用いられたエポキシ化合物に特徴のあるもの [2]
18/80 080 モノアミン	エポキシ重縮合物の製造と硬化であって、そのエポキシ重縮合物が低分子量化合物に限られず、その硬化法に特徴のないものは、グル - プ 59/02 にのみ分類する。 [2]	
18/80 083 酸素または窒素以外の少なくとも 1 個の異種原子を含有する化合物で		
18/80 087 ハロゲン原子を含有するもの	59/22	... ジエポキシ化合物 [2]
18/80 090 けい素を含有するもの	59/24 炭素環式 [2]
18/80 093 活性メチレン基を含有する化合物	59/26 複素環式 [2]
18/80 096 活性水素を含有する基を 1 個だけ持つ 2 種以上の化合物で	59/28 非環式窒素原子を含むもの [2]
18/81	... 不飽和イソシアネートまたはイソチオシアネート [2]	59/30 炭素、水素、酸素および窒素以外の原子を含むもの [2]
18/81 008	... イソシアネート基またはイソチオシアネート基を 1 個だけ持つもの	59/32	... 3 個またはそれ以上のエポキシ基を含むエポキシ化合物 [2]
18/81 016	... イソシアネート基またはイソチオシアネート基を 1 個だけ持つアクリル酸またはアルキルアクリル酸のエステル	59/34 不飽和重合体のエポキシ化により得られるもの [2]
18/81 025	... イソシアネート基またはイソチオシアネート基を 2 個以上持つもの	59/36 モノエポキシ化合物と共に用いるもの [2]
18/81 033	... アセチレン基を持つもの	59/38 ジエポキシ化合物と共に用いるもの [2]
18/82	.. 重合後の処理 [2]	59/40	.. 用いられた硬化剤に特徴のあるもの [2]
18/83	.. 化学的に変性された重合体 [2]	59/42	... ポリカルボン酸; その酸無水物、ハライドまたは低分子量エステル [2]
18/83 010	... 炭酸ハロゲン化物、カルボン酸ハロゲン化物およびエポキシハロゲン化物を含む酸素含有化合物によるもの (アルデヒドによるもの C08G18/84、過酸化物によるもの C08G18/86)	59/44	... アミド [2]
18/83 020	... 加水分解剤として作用する水によるもの (イソシアネートと水の反応 C08G18/30 020; イソシアネートとポリマ - と水の反応 C08G18/10 + C08G18/30 020)	59/46 他の硬化剤と共に用いるもの [2]
18/83 030	... 窒素含有化合物によるもの (アゾ化合物によるもの C08G18/85)	59/48 ポリカルボン酸と共に、またはその酸無水物、ハライドまたは低分子量エステルと共に用いるもの [2]
18/83 060	... りん含有化合物によるもの	59/50	... アミン [2]
18/83 070	... けい素含有化合物によるもの	59/52 アミノカルボン酸 [2]
18/83 080	... 酸素、ハロゲン、窒素、いおう、りんまたはけい素以外の異種原子を含有する化合物によるもの	59/54 アミノアミド [2]
18/84	... アルデヒドによるもの [2]	59/56 他の硬化剤と共に用いるもの [2]
18/85	... アゾ化合物によるもの [2]	59/58 ポリカルボン酸と共に、またはその酸無水物、ハライドまたは低分子量エステルと共に用いるもの [2]
18/86	... 過酸化物によるもの [2]	59/60 アミドと共に用いるもの [2]
18/87	... いおうによるもの [2]	59/62	... アルコ - ルまたはフェノール [2]
59/00	1 分子中に 1 個より多くのエポキシ基を含有する重縮合物; エポキシ重縮合物と単官能性低分子量化合物との反応によって得られる高分子化合物; エポキシ基と反応する硬化剤または触媒を用いて 1 分子中に 1 個より多くのエポキシ基を含有する化合物を重合することにより得られる高分子化合物 [2]	59/64 アミノアルコ - ル [2]
59/02	・ 1 分子中に 1 個より多くのエポキシ基を含有する重縮合物 [2]	59/66	... メルカプタン [2]
59/04	.. ポリヒドロキシ化合物のエピハロヒドリンまたはその前駆物質との [2]	59/68	.. 用いられた触媒に特徴のあるもの [2]
59/06	... 多価フェノールの [2]	59/70	... キレ - ト [2]
59/08	... フェノールアルデヒド縮合物からの [2]	59/72	... ハロゲン化ほう素の錯体 [2]
59/10	.. ポリアミンのエピハロヒドリンまたはその前駆物質との [2]	グル - プ 61/00 から 79/00 においては、相反する指示がない限り、主鎖に 2 種の異なる結合を形成する反応により得られる高分子化合物は、過剰に存在する結合にのみ従って分類する。 [2]	
		61/00	高分子の主鎖に炭素 - 炭素連結基を形成する反応により得られる高分子化合物 (C08G2/00-C08G16/00 が優先) [2]
		61/02	・ 高分子の主鎖に炭素原子のみを含む高分子化合物、例: ポリキシリレン [2]

61/04	・・脂肪族炭素原子のみを含むもの [2]	63/21不飽和モノカルボン酸または不飽和一価アルコ - ルまたはそれらの反応性誘導体の存在下のもの [2006.01]
61/06	・・・炭素環式化合物の開環によりつくられるもの [2]	63/40	・・・ポリカルボン酸のまたはポリヒドロキシ化合物の、それらのエステル以外の、エステル形成性誘導体から誘導されたポリエステル [2006.01]
61/08	・・・環中に 1 個またはそれ以上の炭素炭素二重結合を含む炭素環式化合物の [2]	63/42	・・・環状エ - テル (C08G59/00 が優先) ; 環状カ - ボネ - ト ; 環状サルファイト ; 環状オルトエステル [2006.01]
61/10	・・芳香族炭素原子のみを含むもの、例、ポリフェニレン [2]	63/44	・・・ポリアミド ; ポリニトリル [2006.01]
61/12	・高分子の主鎖に炭素以外の原子を含む高分子化合物 [2]	63/46	・・・エステル化によって化学的に変性されたポリエステル (C08G63/20 が優先) [2006.01]
63/00	高分子の主鎖にカルボン酸エステル連結基を形成する反応によって得られる高分子化合物 (ポリエステル アミド C08G69/44; ポリエステル イミド C08G73/16) [2006.01]	63/47	・・・不飽和モノカルボン酸または不飽和一価アルコ - ルまたはそれらの反応性誘導体によるもの [2006.01]
ポリエステルの化学構造によって特徴づけられる化合物はポリエステル化合物の型に対応するグル - プに分類する。ポリエステルの製造方法によって特徴づけられる化合物は採用された方法に対応するグル - プ C08G63/78 -C08G63/87 に分類する。化学構造と製造方法の両方によって特徴づけられる化合物は各々の観点に従って分類する。		63/48	・・・不飽和高級脂肪油またはその酸によるもの ; 樹脂酸によるもの [2006.01]
63/02	・ヒドロキシカルボン酸からまたはポリカルボン酸およびポリヒドロキシ化合物から誘導されるポリエステル [2006.01]	63/49アルキッド樹脂 [2006.01]
63/06	・・ヒドロキシカルボン酸から誘導されたもの [2006.01]	63/50一価アルコ - ルによるもの [2006.01]
63/08	・・・ラクトンまたはラクチド [2006.01]	63/52	・・・ポリカルボン酸またはポリヒドロキシ化合物であって 2 成分のうち少くとも 1 成分が脂肪族不飽和を含むもの [2006.01]
63/12	・・ポリカルボン酸およびポリヒドロキシ化合物とから誘導されるもの [2006.01]	63/54	・・・炭素環を含む酸またはヒドロキシ化合物 [2006.01]
63/123	・・・炭素環を含む酸またはヒドロキシ化合物 [2006.01]	63/547芳香族環を含むヒドロキシ化合物 [2006.01]
63/127芳香族環を含む酸 [2006.01]	63/553脂肪族環を含む酸またはヒドロキシ化合物、例、ディ - ルス アルダ - 付加物 [2006.01]
63/132 つ以上の芳香族環を含むもの [2006.01]	63/56	・・・ポリカルボン酸またはポリヒドロキシ化合物の、それらのエステル以外の、エステル形成性誘導体から誘導されたポリエステル [2006.01]
63/133芳香族環を含むヒドロキシ化合物 [2006.01]	63/58環状エ - テル (C08G59/00 が優先) ; 環状カ - ボネ - ト ; 環状サルファイト [2006.01]
63/137脂肪族環を含む酸またはヒドロキシ化合物 [2006.01]	63/60	・・ヒドロキシカルボン酸、ポリカルボン酸およびポリヒドロキシ化合物の混合物の反応から誘導されるもの [2006.01]
63/16	・・・ジカルボン酸およびジヒドロキシ化合物 [2006.01]	63/64	・カルボン酸エステル基および炭酸エステル基を共に含むポリエステル [2006.01]
63/18	・・・炭素環を含む酸またはヒドロキシ化合物 [2006.01]	63/66	・エ - テル基の形で酸素を含むポリエステル (C08G63/42, C08G63/58 が優先) [2006.01]
63/181芳香族環を含む酸 [2006.01]	63/664	・・ヒドロキシカルボン酸から誘導されるもの [2006.01]
63/183テレフタル酸 [2006.01]	63/668	・・ポリカルボン酸とポリヒドロキシ化合物から誘導されるもの [2006.01]
63/1852 以上の芳香族環を含むもの [2006.01]	63/672	・・・ジカルボン酸とジヒドロキシ化合物 [2006.01]
63/187縮合芳香族環を含むもの [2006.01]	63/676	・・・2 成分のうち少なくとも 1 成分が脂肪族不飽和を含むもの [2006.01]
63/189ナフタリン環を含むもの [2006.01]	63/68	・炭素、水素および酸素以外の原子を含むポリエステル (C08G63/64 が優先) [2006.01]
63/19芳香族環を含むヒドロキシ化合物 [2006.01]	63/682	・・ハロゲンを含むもの [2006.01]
63/191ヒドロキノン [2006.01]	63/685	・・窒素を含むもの [2006.01]
63/1932 以上の芳香族環を含むもの [2006.01]	63/688	・・いおうを含むもの [2006.01]
63/195ビスフェノ - ル A [2006.01]	63/692	・・りんを含むもの [2006.01]
63/197縮合芳香族環を含むもの [2006.01]	63/695	・・けい素を含むもの [2006.01]
63/199脂肪族環を含む酸またはヒドロキシ化合物 [2006.01]		
63/20	・・・1 つの反応性基または 2 つ以上の反応性基を持つ化合物の存在下で製造されるポリエステル [2006.01]		

63/698	・・ほう素を含むもの [2006.01]	65/00	高分子の主鎖にエ - テル連結基を形成する反応により得られる高分子化合物 (エポキシ樹脂 C08G59/00; ポリチオエ - テル エ - テル C08G75/12; 10 以下の単量体単位を含むポリエ - テル C07C) [2]
63/78	・製造法 [2006.01]	65/02	・複素環の開環による環状エ - テルからの [2]
63/79	・・界面的方法, すなわち 2 つの非混和性液体の界面での反応を含む方法 [2006.01]	65/04	・・環状エ - テルのみからの [2]
63/80	・・固相重縮合 [2006.01]	65/06	・・環外に炭素および水素以外の原子を有しない環状エ - テル [2]
63/81	・・溶媒を用いるもの (C08G63/79 が優先) [2006.01]	65/08	・・・飽和オキシラン [2]
63/82	・・用いられた触媒に特徴があるもの [2006.01]	65/10	・・・・用いられた触媒に特徴のあるもの [2]
63/83	・・アルカリ金属, アルカリ土類金属, ベリリウム, マグネシウム, 銅, 銀, 金, 亜鉛, カドミウム, 水銀, マンガン, またはそれらの化合物 [2006.01]	65/12	・・・・・有機金属化合物または金属水素化合物を含むもの [2]
63/84	・・ほう素, アルミニウム, ガリウム, インジウム, タリウム, 希土類金属, またはそれらの化合物 [2006.01]	65/14	・・・不飽和オキシラン [2]
63/85	・・ゲルマニウム, スズ, 鉛, ひ素, アンチモン, ビスマス, チタン, ジルコニウム, ハフニウム, パナジウム, ニオブ, タンタル, またはそれらの化合物 [2006.01]	65/16	・・・4 個またはそれ以上の環形成原子を有する環状エ - テル [2]
63/86	・・・ゲルマニウム, アンチモン, またはそれらの化合物 [2006.01]	65/18	・・・・オキセタン [2]
63/87	・・非金属またはその相互間化合物 (ほう素 C08G63/84) [2006.01]	65/20	・・・・テトラヒドロフラン [2]
63/88	・重合後の処理 [2006.01]	65/22	・・環外に炭素および水素以外の少なくとも 1 個の原子を有する環状エ - テル [2]
63/89	・・重合体の回収 [2006.01]	65/24	・・・エピハロヒドリン [2]
63/90	・・精製; 乾燥 [2006.01]	65/26	・・環状エ - テルおよび他の化合物からの [2]
63/91	・化学的後処理による変性された重合体 [2006.01]	65/28	・・環式エ - テルおよびヒドロキシ化合物 [2]
64/00	高分子の主鎖に炭酸エステル連結基を形成する反応によって得られる高分子化合物 (ポリカ - ボネ - ト アミド C08G69/44; ポリカ - ボネ - ト イミド C08G73/16) [5]	65/30	・・重合後の処理, 例 . 回収, 精製, 乾燥 [2]
カルボン酸エステル基および炭酸エステル基を共に含む重合体は, 炭酸エステル基がカルボン酸エステル基より多く含まれている場合でも, 常に 63/64 に分類する。[5]		65/32	・・化学的後処理により変性された重合体 [2]
64/02	・脂肪族ポリカ - ボネ - ト [5]	65/321	・・無機化合物による [7]
64/04	・芳香族ポリカ - ボネ - ト [5]	65/322	・・・水素を含むもの [7]
64/06	・・不飽和脂肪族を含有しないもの [5]	65/323	・・・ハロゲンを含むもの [7]
64/08	・・炭素, 水素または酸素以外の原子を含有するもの [5]	65/324	・・・酸素を含むもの [7]
64/10	・・・ハロゲンを含有するもの [5]	65/325	・・・窒素を含むもの [7]
64/12	・・・窒素を含有するもの [5]	65/326	・・・・いおうを含むもの [7]
64/14	・・連鎖停止剤または鎖架橋剤を含有するもの [5]	65/327	・・・・りんを含むもの [7]
64/16	・脂肪族 芳香族または芳香脂肪族ポリカ - ボネ - ト [5]	65/328	・・・・その他の元素を含むもの [7]
64/18	・ブロックまたはグラフト重合体 [5]	65/329	・・有機化合物による [7]
64/20	・製造法一般 [5]	65/331	・・・酸素を含むもの [7]
64/22	・・ハロゲン化カルボニルを用いるもの [5]	65/332	・・・・カルボキシル基, またはそのハライドまたはエステルを含むもの [7]
64/24	・・およびフェノ - ル [5]	65/333	・・・・窒素を含むもの [7]
64/26	・・ハロゲン化カ - ボネ - トを用いるもの [5]	65/334	・・・・いおうを含むもの [7]
64/28	・・およびフェノ - ル [5]	65/335	・・・・りんを含むもの [7]
64/30	・カ - ボネ - トを用いるもの [5]	65/336	・・・・けい素を含むもの [7]
64/32	・二酸化炭素を用いるもの [5]	65/337	・・・・その他の元素を含むもの (カルボキシル基のハライドとしてのみハロゲンを含む有機化合物 C08G65/332) [7]
64/34	・・および環状エ - テル [5]	65/338	・・無機化合物と有機化合物とによる [7]
64/36	・一酸化炭素を用いるもの [5]	65/34	・ヒドロキシ化合物またはその金属誘導体からの (C08G65/28 が優先) [2]
64/38	・他の単量体を用いるもの [5]	65/36	・フルフリルアルコ - ル [2]
64/40	・重合後の処理 [5]	65/38	・フェノ - ルから誘導されるもの [2]
64/42	・化学的後処理 [5]	65/40	・・フェノ - ルおよび他の化合物からの [2]
		65/42	・・・フェノ - ルおよびポリヒドロキシエ - テル [2]
		65/44	・・フェノ - ルの酸化によるもの [2]
		65/46	・・重合後の処理, 例 . 回収, 精製, 乾燥 [2]

65/48	・化学的後処理により変性された重合体 [2]	73/02	・ポリアミン (10 以下の単量体単位を含むもの C07C) [2]
67/00	グル - プ C08G2/00-C08G65/00 に属さない、酸素または酸素と炭素を含む連結基を高分子の主鎖に形成する反応により得られる高分子化合物 [2]	73/04	・アルキレンイミンから誘導されるもの [2]
67/02	・一酸化炭素および脂肪族不飽和化合物の共重合体 [2]	73/06	・高分子の主鎖に窒素含有複素環を有する重縮合物; ポリヒドラジド; ポリアミド酸または類似のポリイミド前駆物質 [2]
67/04	・ポリ酸無水物 [2]	73/08	・ポリヒドラジド; ポリトリアゾ - ル; ポリアミノ トリアゾ - ル; ポリオキサジアゾ - ル [2]
69/00	高分子の主鎖にカルボン酸アミド連結基を形成する反応により得られる高分子化合物 (ポリヒドラジド C08G73/08; ポリアミド酸 C08G73/10; ポリアミド - イミド C08G73/14) [2]	73/10	・ポリイミド; ポリエステル イミド; ポリアミド イミド; ポリアミド酸または類似のポリイミド前駆物質 [2]
69/02	・アミノカルボン酸からまたはポリアミンおよびポリカルボン酸から誘導されるポリアミド [2]	73/12	・不飽和ポリイミド前駆物質 [2]
69/04	・製造法 [2]	73/14	・ポリアミド イミド [2]
69/06	・固相重縮合 [2]	73/16	・ポリエステル イミド [2]
69/08	・アミノカルボン酸から誘導されるもの [2]	73/18	・ポリベンズイミダゾ - ル [2]
69/10	・アミノカルボン酸 [2]	73/20	・ピロン [2]
69/12	・アミノ基およびカルボキシル基が共に芳香族に結合したもの [2]	73/22	・ポリベンズオキサゾ - ル [2]
69/14	・ラクタム [2]	73/24	・フルオロニトロソ有機化合物および他のフルオロ有機化合物の共重合体, 例: ニトロソゴム [2]
69/16	・製造法 [2]	73/26	・トリフルオロニトロソメタンのフルオロ オレフィンとの共重合体 [2]
69/18	・アニオン重合 [2]	75/00	高分子の主鎖に窒素, 酸素または炭素を有しまたは有せずにおうを含む連結基を形成する反応により得られる高分子化合物 [2]
69/20	・用いられた触媒に特徴のあるもの [2]	75/02	・ポリチオエ - テル [2,2016.01]
69/22	・ラクタム [2]	75/0204	・ポリアリ - レンチオエ - テル [2016.01]
69/24	・ピロリドンまたはヒペリドン [2]	(1) このグル - プでは、高分子化合物は以下のグル - プの集合体のいずれかと関連する発明的観点に基づいて分類される	
69/26	・ポリアミンおよびポリカルボン酸から誘導されるもの [2]	・ C08G75/0209-C08G75/0245;	
69/28	・製造法 [2]	・ C08G75/025-C08G75/0268;	
69/30	・固相重縮合 [2]	・ C08G75/0277-C08G75/0281; [2016.01]	
69/32	・アミノ基およびカルボキシル基が共に芳香族に結合した芳香族ジアミンおよび芳香族ジカルボン酸からの [2]	・ C08G75/0286-C08G75/0295	
69/34	・重合した不飽和脂肪酸を用いるもの [2]	(2) (1) に示されたグル - プの各集合体において、ラストプレース優先ル - ルが適用される、すなわち各階層レベルにおいて相反する指示がない限り最後の適切な箇所	
69/36	・アミノ酸, ポリアミンおよびポリカルボン酸から誘導されるもの [2]	に分類する。 [2016.01]	
69/38	・アルデヒドおよびポリニトリルから製造されるポリアミド [2]	75/0209	・1 個の芳香環を持つ単量体から誘導されたもの [2016.01]
69/40	・エ - テル基の形で酸素を含むポリアミド (C08G69/12, C08G69/32 が優先) [2]	75/0213	・炭素, 水素またはいおう以外の元素を含むもの [2016.01]
69/42	・炭素, 水素, 酸素および窒素以外の原子を含むポリアミド (C08G69/12, C08G69/32 が優先) [2]	75/0222	・窒素を含むもの [2016.01]
69/44	・ポリエステル アミド [2]	75/0227	・2 個以上の芳香環を持つ単量体から誘導されたもの [2016.01]
69/46	・重合後の処理 [2]	75/0231	・連鎖停止剤または分岐剤を含有するもの [2016.01]
69/48	・化学的後処理により変性された重合体 [2]	75/0236	・アリ - レン基間の連結基において炭素またはいおう以外の原子を含むもの [2016.01]
69/50	・アルデヒドによるもの [2]	75/024	・カルボニル基を含むもの [2016.01]
71/00	高分子の主鎖にイソシアネ - ト基以外からのウレイドまたはウレタン連結基を形成する反応により得られる高分子化合物 [2]	75/0245	・ブロック重合体またはグラフト重合体 [2016.01]
71/02	・ポリ尿素 [2]	75/025	・製造法 [2016.01]
71/04	・ポリウレタン [2]	75/0254	・金属硫化物を用いるもの [2016.01]
73/00	グル - プ C08G12/00-C08G71/00 に属さない、高分子の主鎖に酸素または炭素を有しまたは有せず窒素を含む連結基を形成する反応により得られる高分子化合物 [2]	75/0259	・金属硫化水素を用いるもの [2016.01]
		75/0263	・元素いおうを用いるもの [2016.01]
		75/0268	・ジスルフィドを用いるもの [2016.01]

75/0277	・・・重合後の処理（化学的後処理 C08 G75/0286）[2016.01]	77/382	・・・炭素、水素、酸素またはけい素以外の原子を含むもの [5]
75/0281	・・・回収または精製 [2016.01]	77/385	・・・ハロゲンを含むもの [5]
75/0286	・・・化学的後処理 [2016.01]	77/388	・・・窒素を含むもの [5]
75/029	・・・有機化合物による変性 [2016.01]	77/392	・・・いおうを含むもの [5]
75/0295	・・・無機化合物による変性 [2016.01]	77/395	・・・りんを含むもの [5]
75/04	・・・メルカプト化合物またはその金属誘導体からの（C08G75/0204 が優先）[2,2016.01]	77/398	・・・ほう素または金属原子を含むもの [5]
75/045	・・・メルカプト化合物と不飽和化合物からの [2016.01]	77/42	・・・ポリシロキサン連鎖を含むブロックまたはグラフト重合体（ポリシロキサンへの脂肪族不飽和単量体の重合 C08 F283/12）[2]
75/06	・・・環状チオエ - テルからの [2]	77/44	・・・ポリシロキサン連鎖のみを含むもの [2]
75/08	・・・チイランからの [2]	77/442	・・・ビニル重合体連鎖を含むもの [5]
75/10	・・・いおうまたはいおう含有化合物およびアルデヒドまたはケトンからの [2]	77/445	・・・ポリエステル連鎖を含むもの [5]
75/12	・・・ポリチオエ - テル エ - テル（C08G75 /0245 が優先）[2,2016.01]	77/448	・・・ポリカ - ボネ - ト連鎖を含むもの [5]
75/14	・・・ポリスルフィド [2]	77/452	・・・窒素含有連鎖を含むもの [5]
75/16	・・・有機化合物の無機ポリスルフィドとの重縮合によるもの [2]	77/455	・・・ポリアミド、ポリエステルアミドまたはポリイミド連鎖を含むもの [5]
75/18	・・・ポリスルホキシド [2]	77/458	・・・ポリウレタン連鎖を含むもの [5]
75/20	・・・ポリスルホン [2,2016.01]	77/46	・・・ポリエ - テル連鎖を含むもの [2]
75/205	・・・二酸化いおうと不飽和有機化合物との共重合体 [2016.01]	77/48	・・・すべてではないが少なくとも 2 個のけい素原子が酸素原子以外の連結基により結合されているもの [2]
75/22	・・・二酸化いおうの不飽和脂肪族化合物との共重合体 [2]	77/50	・・・炭素連結基によるもの [2]
75/23	・・・ポリエ - テルスルホン [2]	77/52	・・・芳香環を含むもの [2]
75/24	・・・ポリスルホネ - ト [2]	77/54	・・・窒素含有連結基によるもの [2]
75/26	・・・ポリチオエステル [2]	77/56	・・・ほう素含有連結基によるもの [2]
75/28	・・・ポリチオカ - ボネ - ト [2]	77/58	・・・金属含有連結基によるもの [2]
75/30	・・・ポリスルホンアミド；ポリスルホンイミド [2]	77/60	・・・すべてのけい素原子が酸素原子以外の連結基により結合されているもの [2]
75/32	・・・ポリチアゾ - ル；ポリチアジアゾ - ル [2]	77/62	・・・窒素原子 [2]
77/00	高分子の主鎖にいおう、窒素、酸素または炭素有しまたは有せずけい素を含む連結基を形成する反応により得られる高分子化合物 [2]	79/00	高分子の主鎖に、けい素、いおう、窒素、酸素または炭素有しまたは有せずけい素、いおう、窒素、酸素および炭素以外の原子を含む連結基を形成する反応により得られる高分子化合物 [2]
77/02	・・・ポリシリケ - ト [2]	79/02	・・・りんを含む連結基 [2,2016.01]
77/04	・・・ポリシロキサン [2]	79/025	・・・ポリホスファゼン [2016.01]
77/06	・・・製造法 [2]	79/04	・・・酸素にまたは酸素および炭素に結合したりん [2]
77/08	・・・用いられた触媒に特徴のあるもの [2]	79/06	・・・炭素のみに結合したりん [2]
77/10	・・・平衡法 [2]	79/08	・・・ほう素を含む連結基 [2]
77/12	・・・水素に結合したけい素を含むもの [2]	79/10	・・・アルミニウムを含む連結基 [2]
77/14	・・・酸素含有基に結合したけい素を含むもの [2]	79/12	・・・すすを含む連結基 [2]
77/16	・・・水酸基に [2]	79/14	・・・炭素、酸素、窒素、いおうおよびけい素以外の 2 個またはそれ以上の元素を含む連結基 [2]
77/18	・・・アルコキシまたはアリルオキシ基に [2]	81/00	単量体の不存在下に重合体を相互に反応することにより得られる高分子化合物、例、ブロック重合体（炭素 炭素不飽和結合のみが関与する反応によるもの C08 F299/00）[2]
77/20	・・・不飽和脂肪族基に結合したけい素を含むもの [2]	81/02	・・・重合体の少なくとも 1 種が炭素 炭素不飽和結合のみが関与する反応により得られるもの [2]
77/22	・・・炭素、水素および酸素以外の原子を含む有機基に結合したけい素を含むもの [2]	83/00	ゲル - プ C08G2/00-C08G81/00 に分類されない高分子化合物 [2]
77/24	・・・ハロゲン含有基 [2]	85/00	このサブクラスに属する化合物の一般的な製造法 [2]
77/26	・・・窒素含有基 [2]	発泡体に関し、ゲル - プ 18/00 と関連するインデキシング系列 [5]	
77/28	・・・いおう含有基 [2]	101:00	発泡体の製造 [5]
77/30	・・・りん含有基 [2]		
77/32	・・・重合後の処理 [2]		
77/34	・・・精製 [2]		
77/36	・・・分留 [2]		
77/38	・・・化学的後処理により変性されたポリシロキサン [2]		

